

ホクコーザクサ[®]液剤

■種類名：グルホシネートPナトリウム塩液剤
 ■有効成分：グルホシネートPナトリウム塩-----11.5%
 ■PRTR法指定物質：ホリ(オキエチル)=ド デシエ-テル硫酸エステルナトリウム
 [第1種] -----15.7%
 ホリ(オキエチル)=アルキル-テル [第1種] -----4.0%

■登録番号：第22902号
 ■毒性：普通物(毒劇物に該当しないものを指している通称)
 ■登録初年：2011.03.15
 ■性状：青色澄明水溶性液体
 ■有効年限：4年
 ■包装：500ml×20本、2[㍓]×6本
 5[㍓]×3本、10[㍓]×2本
 20[㍓]×1本
 6[㍓]×3本(北海道のみ)

【特長】

- 除草活性本体のみを製造する画期的な新技術である「キラルスイッチ」により合成。
- 一年生雑草から多年生雑草まで幅広い草種に対して、高い除草効果を示す。
- 土壌中での分解(半減期)が非常に速く、環境にやさしい。

【適用内容】(2015年10月14日現在)

作物名	適用場所	適用雑草名	使用時期	使用量		本剤の使用回数	使用方法	ゲルホシネート及びゲルホシネートPを含む農薬の総使用回数
				薬量	希釈水量			
果樹類 (かんきつ、りんご、びわ、いちょう(種子)、くり、キウイフルーツ、食用桑(果実)、さんしょう(果実)を除く)	—	一年生雑草	収穫前日まで (雑草生育期: 草丈 30cm以下)	300~500 ml/10a	100~150 [㍓] /10a	3回以内	雑草茎葉散布	3回以内
		多年生雑草		500~1000 ml/10a				
かんきつ りんご びわ キウイフルーツ	—	一年生雑草	収穫 21 日前まで (雑草生育期: 草丈 30cm以下)	300~500 ml/10a	100~150 [㍓] /10a	3回以内	雑草茎葉散布	3回以内
		多年生雑草		500~1000 ml/10a				
いちょう (種子)	—	一年生雑草	収穫 14 日前まで (雑草生育期: 草丈 30cm以下)	300~500 ml/10a	100~150 [㍓] /10a	3回以内	雑草茎葉散布	3回以内
		多年生雑草		500~1000 ml/10a				
くり	—	一年生雑草	収穫 30 日前まで (雑草生育期: 草丈 30cm以下)	300~500 ml/10a	100~150 [㍓] /10a	3回以内	雑草茎葉散布	3回以内
		多年生雑草		500~1000 ml/10a				
食用桑 (果実)	—	一年生雑草	収穫 45 日前まで (雑草生育期 春期萌芽前及び夏切り後萌芽前)	300~500 ml/10a	100~150 [㍓] /10a	3回以内	雑草茎葉散布	3回以内
		多年生雑草		500~1000 ml/10a				
さんしょう (果実)	—	一年生雑草	収穫 7 日前まで (雑草生育期: 草丈 30cm以下)	300~500 ml/10a	100~150 [㍓] /10a	2回以内	雑草茎葉散布	2回以内
		多年生雑草		500~1000 ml/10a				
なす トマト ミニトマト	—	一年生雑草	収穫前日まで (雑草生育期 定植前又は畦間処理)	300~500 ml/10a	100~150 [㍓] /10a	3回以内	雑草茎葉散布	3回以内
メロン			収穫 30 日前まで (雑草生育期 定植前又は畦間処理)			2回以内		2回以内
キャベツ			収穫 45 日前まで (雑草生育期 定植前又は畦間処理)			2回以内		2回以内
ほうれんそう			収穫 7 日前まで (雑草生育期 は種前又は畦間処理)			3回以内		3回以内
そば			は種前 (雑草生育期)			3回以内		3回以内

作物名	適用場所	適用雑草名	使用時期	使用量		本剤の使用回数	使用方法	ゲルネット及びゲルネットPを含む農薬の総使用回数	
				薬量	希釈水量				
豆類 (種実、ただし、らっかせいを除く)	—	一年生雑草	収穫 28 日前まで (雑草生育期は種・定植前又は畦間処理)	300~500 ml/10a	100~150 ㍓ /10a	3回以内	雑草茎葉散布	3回以内	
ばれいしょ			雑草生育期 萌芽前処理	100~200 ml/10a		1回		3回以内 (萌芽前は1回以内、萌芽後は2回以内)	
さといも			収穫 21 日前まで (雑草生育期畦間処理)			2回以内		3回以内	
かんしょ			収穫 30 日前まで (雑草生育期植付前又は畦間処理)			2回以内		3回以内	
やまのいも			収穫 30 日前まで (雑草生育期挿苗前又は畦間処理)			3回以内		3回以内	
レタス 非結球レタス			収穫 30 日前まで (雑草生育期定植前又は畦間処理)			2回以内			
たまねぎ			収穫 7 日前まで (雑草生育期定植前又は畦間処理)						
ねぎ すいか ブロッコリー			収穫前日まで (雑草生育期定植前又は畦間処理)						
アスパラガス			収穫前日まで (雑草生育期萌芽前又は畦間処理)						
にんじん			収穫 7 日前まで (雑草生育期は種前又は畦間処理)	300~500 ml/10a		3回以内			3回以内
ピーマン きゅうり とうがらし類			収穫前日まで (雑草生育期定植前又は畦間処理)			3回以内			3回以内
とうがん			定植前 (雑草生育期)			2回以内			3回以内 (定植後は2回以内)
			収穫前日まで (雑草生育期畦間処理)						
豆類 (未成熟、ただし、えだまめを除く)			収穫前日まで (雑草生育期は種・定植前又は畦間処理)			3回以内			3回以内
えだまめ			収穫 14 日前まで (雑草生育期は種・定植前又は畦間処理)			2回以内			2回以内
茶			摘採 7 日前まで (雑草生育期畦間処理)			2回以内			2回以内
しそ			収穫 14 日前まで (雑草生育期畦間処理)			3回以内			3回以内
ホップ			収穫 3 日前まで (雑草生育期畦間処理)			1回			1回
たばこ			雑草生育期 大土寄期 畦面・畦間処理	200~500 ml/10a		3回以内			3回以内
花き類・ 観葉植物			雑草生育期 畦間処理 (草丈 30 cm以下)	300~500 ml/10a					

作物名	適用場所	適用雑草名	使用時期	使用量		本剤の使用回数	使用方法	ゲルネット及びゲルネットPを含む農薬の総使用回数
				薬量	希釈水量			
水田作物	—	一年生雑草	耕起前 (雑草生育期: 草丈 30 cm以下)	300~500 ml/10a		1回		1回
水田作物 (水田刈跡)	水田 刈跡		雑草生育期 (草丈 30 cm以下)					
水田作物 (水田畦畔)	水田 畦畔	一年生雑草 多年生雑草	収穫 7 日前まで (雑草生育期: 草丈 30 cm以下)	500~1000 ml/10a				
みょうが(花穂)	—	一年生雑草	収穫 14 日前まで (雑草生育期 萌芽前又は畦間処理)	300~500 ml/10a	100~ 150 ㍓ /10a	2回 以内	雑草 茎葉 散布	2回 以内
みょうが(茎葉)			みょうが(花穂)の 収穫 14 日前まで ただし、花穂を収穫し ない場合にあつては 開花期終了まで (雑草生育期 萌芽前又は畦間処理)					
ぎぼうし			収穫 90 日前まで (雑草生育期 畦間処理)					
さといも(葉柄)			収穫 7 日前まで (雑草生育期 植付前又は畦間処理)		3回 以内	2回 以内		
ごぼう			収穫前日まで (雑草生育期 は種前又は畦間処理)					
茶(幼木)			雑草生育期 畦間・株間処理	300ml /10a	100 ㍓ /10a			
樹木類				300~500 ml/10a	100~ 150 ㍓ /10a			
樹木等	公園 庭園 堤とう 駐車場 道路 運動場 宅地 のり面 鉄道等	多年生雑草	雑草生育期 (草丈 30 cm以下)	500~1000 ml/10a	100~ 200 ㍓ /10a	3回 以内	植栽地 を除く 樹木等 の周辺 地に雑 草茎葉 散布	3回 以内
				1000~ 2000 ml/10a				

【効果・葉害等の注意】

- 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきること。
- 散布直後の降雨は、効果を減ずるので、天候をよく見きわめてから散布すること。
- 雑草の生育期に有効であるが、雑草が大きくなりすぎると効果が劣るので時期を失しないように、薬液が雑草全体によく付着するようにていねいに散布すること。
- 植物に薬液が付着すると葉害を生ずるので散布液が付近の農作物、樹木の茎葉に飛散しないように散布すること。特に野菜類の生育期畦間散布で使用する場合は作物にかからないように十分注意して散布すること。
- 茶(幼木)に使用するときは樹高 30cm 以上、雑草の草丈 20cm 以下で処理すること。処理当年には摘採しないこと。薬液が付着した茶葉には黄化、褐変、落葉などの症状を生じることがあるので、噴口を低くして芽や新葉にかからないように注意して散布すること。
- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにすること。
- 散布液を調製した容器及び散布器具は使用后十分に洗っておくこと。
- 散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないこと。また、空容器、空袋等は環境に影響を与えないよう適切に処理すること。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

【安全使用上の注意】

- ❖ 原液は眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意すること。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けること。
- ❖ 本剤は皮膚に対して刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意すること。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落とすこと。
- ❖ 散布の際は農薬用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用すること。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするとともに衣服を交換すること。作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯すること。
- ❖ かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意すること。
- ❖ 公園、堤とう等で使用する場合は、散布中及び散布後（少なくとも散布当日）に小児や散布に関係のない者が散布区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払うこと。
- ❖ 使用残りの薬剤は安全な場所に保管すること。
- ❖ 魚毒性等：水産動植物(魚類)に影響を及ぼす恐れがあるので、養魚田周辺での使用には注意すること。
- ❖ 保管：直射日光をさけ、なるべく低温な場所に密栓して保管すること。